



ガーナ大統領が来町

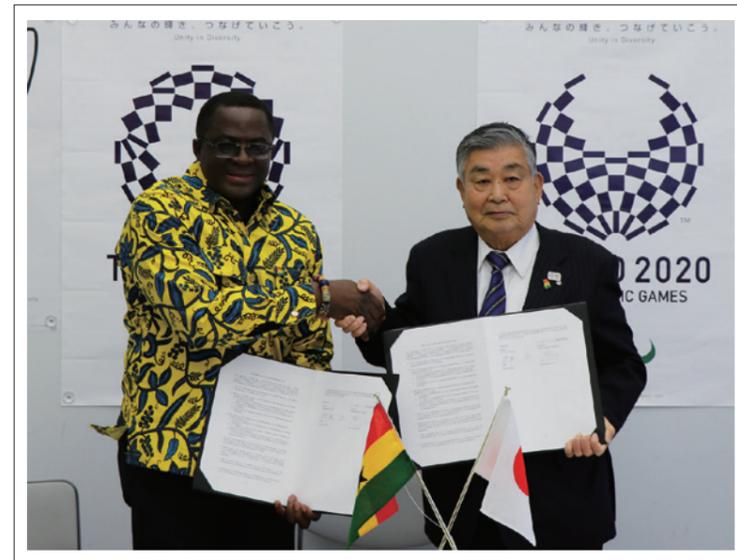
12月13日、本町と2020年東京五輪・パラリンピックの事前キャンプに関する協定を締結しているガーナのナナ・アド・ダクワ・アクフォ＝アド大統領や政府関係者ら約40人が本町を訪れました。

アクフォ＝アド大統領の歓迎レセプションは町役場で行われ、前後町長が「町民を代表して心より歓迎します。猪苗代の良さを感じていただき、ガーナと本町の絆がさらに深まることを祈念します」と歓迎の言葉を述べました。アクフォ＝アド大統領は「野口英世博士の業績の上に現在の確固たる外交関係があると感じています。2020年東京五輪・パラリンピックでの選手団受け入れを表明していただき感謝します。私たちの友情と協力の絆がさらに強まり、文化を超えた対話や交流が進んでいくことを願います。これから皆さんと手を取り合って取り組んでいきたいと思います」とあいさつを述べました。

また、アクフォ＝アド大統領は野口英世記念館を訪問し、翁島小学校児童らの歓迎を受けた後、同館を視察。その後、ホテルリステル猪苗代に移動し、さらなる友好を誓い、前後町長らとソメイヨシノの苗木2本を記念植樹しました。



写真1 野口英世記念館で翁島小学校児童の歓迎に応えるアクフォ＝アド大統領 2 町役場で行われた歓迎レセプションでは、前後町長が記念品として中ノ沢こけしを贈った 3 野口英世記念館を視察するアクフォ＝アド大統領ら



Pick Up

今月のイベント

東京五輪事前キャンプ 本町とガーナ協定締結

さらなる友好を誓い、握手を交わすメンサ委員長(左)と前後町長

町とガーナオリンピック委員会は12月2日、2020年東京五輪・パラリンピックに向けた事前キャンプに関する協定書と覚書を締結しました。

締結式は学びいなかで行われ、前後町長とベン・ヌヌ・メンサ委員長が協定書と覚書に署名しました。

締結式には、ガーナおよび町の関係者ら12人が出席。前後町長が「本町とガーナは、野口英世博士の生誕の地と終焉の地という関係から非常に深いつながりを感じています。東京オリンピック・パラリンピックを通じてガーナを盛り上げていきたいです」とあいさつを述べました。

本町はガーナのホストタウンとして登録されており、覚書では、カメリーナや町運動公園でのガーナ選手団の受け入れを想定しています。メンサ委員長によるとまだガーナの東京五輪出場競技は決定していないものの、サッカーや陸上競技での出場を見込んでおり、サッカーの場合、競技開始の約2ヶ月前から50人ほどの選手やスタッフが本町で事前キャンプを行う予定とのこと。メンサ委員長は「皆さんの支えを受け、選手たちは誇りを持って競技に臨むことができます」と話しました。

広報猪苗代

Jan.2019
1
No.699



【撮影日】12月6日
【場所】さくらこども園

今月の表紙

さくらこども園では12月6日、同園で恒例行事の「餅つき」を行いました。さくら組、うめ組、もも組の園児たちが大きなきねと臼を使って、上手に餅をつきました。

Contents — 【目次】

- 02 年頭のごあいさつ
- 04 Pick Up
- 05 ガーナ大統領が来町
- 06 まちのわだい
- 08 笑顔でこんにちは／ホットニュース
- 09 スクールトピックス
- 10 いなわしろタウンページ
- 14 暮らしの情報広場
- 16 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー